



上映後にトークショーも開催

こども虐待を考える映画上映

オレンジリボン 映画祭

IN 浜大津



10月26日(土) 時間：11:00～17:00

会場：スカイプラザ浜大津（京阪びわ湖浜大津駅徒歩1分）

お好きな作品と公演後のトークショー（30分）をお楽しみにください
自立援助ホーム、児童相談所、母子福祉会で支援に関わる方のトークショー
★どの作品も無料上映（当日受付：先着100名／入場は上映30分前）

上映作品① 「On My Way 僕たちは道の途中」 11時から11時半

上映作品② 「やさしい花」 13時から13時45分

上映作品③ 「ほどけそうな、息」 14時15分から15時／16時から16時45分

主催：びわこオレンジリボンフェスタ実行委員会 後援：滋賀県・大津市

事務局：NPO法人こどもソーシャルワークセンター

問い合わせはホームページ（<https://cswc2016.jp>）か電話077-575-4378

上映作品①

On My Way ～僕たちは道の途中～

上映開始11時



作成年：2024年 上映時間：26分

監督：おおえちえ 出演：施設で育った滋賀県の若者たち

虐待を受けて施設で育ち、社会に出てひとりで生活する若者たちのインタビューを中心に構成された自主短編映画。

「きょうだいで自分だけ落ちこぼれてしまった」「きょうだいと暮らせるために仕事を頑張った」「職場の人に施設出身というのは言っていない」「同情されるのが嫌」「自分で動くしかない」「助けてくれるのも結局人間 虐待の【過去の傷】をかかえながら【今に向き合う】若者たちのリアルな声から社会のあり方を考えさせられる作品。

トークショー開始 11時30分

NPO法人にじまち 理事長 林智子さん

長浜に自立援助ホーム「ななほし」を開所

上映作品②

やさしい花

上映開始13時



放送年度：2011年 上映時間：43分

作：安田真奈 出演：石野真子／谷村美月／西川忠志／早織／木咲直人

若い頃に娘を虐待し、児童相談所の援助を受け家族関係を立て直した過去を持つ主婦の友子が住むマンションの下の階に、若い母親ゆかとその息子が引っ越してくる。下の階の息子の泣き声や若い母親ゆかの子への暴力を目の当たりにし、友子は救いの手を差し伸べようとするが、ゆかに拒絶される。

しかし、ある出来事をきっかけに、夫と隣に住む大学生と協力して若い親子を助ける行動に出る。地域の中で虐待をみかけた時に何が必要なのか問われる作品。

トークショー開始 13時45分

滋賀県母子福祉のぞみ会 会長 坂下ふじ子さん

母子のぞみ会で多くの母子家庭をささえる

上映作品③

ほどけそうな、息

上映開始 1回目14時15分/2回目16時



作成年：2022年 上映時間：44分

監督・脚本：小澤雅人 キャスト：小野花梨／月船さらら／行平あい佳／水石亜飛夢／飯島珠奈

新卒で児童相談所に入所して2年目ケースワーカーのカスミは、一時保護された9歳の女の子ヒナのケースを受け持つ。ヒナの父は仕事で留守にしがちで、母のシノブはお酒の問題を抱えていてネグレクトが疑われたが、両親とも反省している様子だった。しかしカスミはつい感情的になり、シノブの信頼を失うような事件を引き起こしてしまう。はたしてカスミはシノブの信頼を再び得られるのか。そしてヒナは両親のもとに帰ることができるのか。知られざる児童相談所ケースワーカーたちの支援現場の葛藤を知ることができる作品。

特別企画 15時

びわこ一周オレンジリレーたすきリレーゴール会場から中継

トークショー開始 15時30分

元子ども家庭相談センター職員 川端伸章さん

長年児童相談所などの行政機関で虐待に関わる

※好きな作品を選んでご覧ください（全作品を鑑賞することも可能です）

クラウドファンディングにご協力ください！

今回のオレンジリボン映画祭は、多くの人に鑑賞してもらえるようにすべて無料上映にしました。そのため上映とイベントにかかる費用50万円をクラウドファンディングで集めています。今回のクラウドファンディングは株式会社Yogiboのご協賛のもと決済手数料が免除されており、寄付金がすべてイベント運営費に使われます。詳しくは右側にあるQRコードから移動できるクラウドファンディングサイトをご確認ください。

